

地域研究委員会・地球惑星科学委員合同地理教育分科会小委員会の設置について  
 分科会等名：大学地理教育小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○地域研究委員会 地球惑星科学委員会
2	委員の構成	15名以内会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	<p>本小委員会は、第22期に地理学の参照基準の策定に中心となって取り組み、第23期では高等学校での「地理総合」必修化の課題となる、大学で地理学を専攻した地歴科教員の養成の課題などについて検討を行った。これらの検討を通じて、地理学の学修によって得た知識、技能、能力は卒業後の社会での活躍に役立つだけでなく、大学で他の学問を学ぶ上でも大いに役立つことが再確認された。このことは系統地理学の内容が都市、工業、地形、気候など人文・社会・自然の多岐にわたっていることの証左でもある。</p> <p>現在、大学での地理学教育は、旧来の教養教育、教員養成教育、地理学専攻等での体系的な専門教育のほか、多様な学部・学科で実践されている。また、各地の大学で増えつつある地域学など学際的な学部の多くでも、地理学の有用性が認められている。こうした多様な学修機会において地理学を学ぶことの意義や社会での有用性が、さらに広く認知されるような取り組みについて検討する必要がある。また地理学がより深く関与しなければならない国際的プログラム Future Earth も大学地理教育の喫緊の課題である。</p> <p>これら以外にも大学での地理教育が取り組まなければならない課題は多く存在するが、これまでの取り組みとの継続性を考慮し、今期は以上の課題について検討を進めることとしたい。</p>
4	審議事項	<p>1. 大学での多様な機会での地理学学修の有用性と、社会で求められる実践力への貢献などの大学地理教育の課題についての検討</p> <p>2. シンポジウムなどの開催</p> <p>3. これら課題への対応を広く学界に問うに係る審議に関すること</p>
5	設置期間	平成30年2月22日～平成32年9月30日
6	備考	